

北海道後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

■広域連合の計画に関する住民意見募集について■

北海道後期高齢者医療広域連合は、道内179市町村との連携のもと、後期高齢者医療制度を運営している特別地方公共団体です。

この度、広域連合では、広域連合と市町村が連携しながら処理する事務について定めた「第2次広域計画」及び被保険者の健康の保持増進事業のための「保健事業実施計画」が平成29年度末で終了することから、平成30年度からの新たな計画を策定します。

この計画の策定にあたり、次のとおり広く住民の皆さまからご意見を募集します。

◆募集案件について

【募集案件】 北海道後期高齢者医療広域連合第3次広域計画（原案）

北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画（第2期）（原案）

【募集期間】 平成29年11月29日（水）～平成29年12月28日（木）（必着）

◆計画（原案）及び募集要領の閲覧方法について

意見募集の開始日から、北海道後期高齢者医療広域連合ホームページ

(<http://iryokouiki-hokkaido.jp/hotnews/detail/00000225.html>) に掲載するとともに次の場所で閲覧できます。

・妹背牛町役場住民課保険グループ

・北海道後期高齢者医療広域連合（住所については、下記お問い合わせ先参照）

お 問 い 合 わ せ 先

北海道後期高齢者医療広域連合

住所 〒060-0062

札幌市中央区南2条西14丁目

国保会館6階

☎011-290-5601

妹背牛町役場

住民課保険グループ

☎0164-32-2411

公務災害“ゼロ”を目指して「S-KYT」研修会

11月1日、「S-KYT（消防団危険予知訓練）」の研修会が妹背牛消防庁舎において行われ、妹背牛消防団（古川隆夫団長）の職団員43名が参加しました。

消防団員等公務災害補償等共済基金よりS-KYT指導員3名が講師として来庁。4時間にも及ぶこの講習では、災害現場での活動中はもちろん活動終了後も危険を予知し、安全意識を共有することの重要性が強く訴えられ、メンバー同士の健康状態をチェックする大切さなども学びました。

その後は、災害現場で安全で誤りのない活動を進めていくために行う確認行動「指差し唱和」の実技指導が行われ安全確認のスローガンをしっかり指差し団員たちの「安全確認、ヨシッ！」の声が室内に響きわたりました。

